

大阪市は女性の活躍を応援しています!!

平成26年度の大阪市の取組み

大阪市では、少子高齢化が進展し労働力人口が減少する中、現役世代の活力の底上げと経済活性化のためにも、女性がその能力を十分に発揮し活躍できる環境を整備すべく、女性が直面する様々なライフステージに対応した4本の柱を中核とした総合的な施策を展開しています。

- 一つ目の柱 キャリア形成支援
- 二つ目の柱 働く女性を支援
- 三つ目の柱 社会参加したい女性の活躍促進
- 四つ目の柱 女性の活躍促進を見える化する情報発信事業等

さらに、平成26年度から3か年の長期的な取組みを行っていくために、女性の活躍促進プロジェクトチーム会議において特別顧問、特別参加からご助言をいただくとともに、ワーキング・グループ会議において意見交換を行い、「大阪市女性の活躍促進アクションプラン(案)」をとりまとめました。

- ☆女性が働きつづけられるまち
- ☆活躍したい女性が希望を持てるまち
- ☆地域で女性がいきいきと輝いているまち

アクションプランでは、大阪市がこのようなまちになることをめざして、ライフステージに対応した総合的な施策に取り組んでいきます。

「大阪市女性の活躍促進アクションプラン(案)」についてパブリックコメントを実施する予定です。市民の皆さまから幅広くご意見をいただき、今後とりまとめる「大阪市女性の活躍促進アクションプラン」をよりよいものにしてまいります。

(パブリックコメント実施についての詳細は、後日、大阪市ホームページ等でお知らせします。)

男女がともに活躍できる職場や地域に

男女共同参画施策推進基金へのご寄附をお願いします。

「大阪市男女共同参画施策推進基金」は、男女が個性と能力を十分に発揮して、家庭、地域、職場において対等な立場からともに参画するため、安定した財政基盤のもとに諸条件の整備を行い、計画的かつ総合的に男女共同参画施策を推進するため、平成4年4月に設置されました。

これまで、この基金を活用し、男女共同参画施策を推進する拠点施設(クレオ大阪)の整備や、男女共同参画社会の形成に関する調査・研究事業、普及・啓発事業や女性の社会参加・参画と自立を支援する様々な事業を展開してまいりました。

これからもこの基金を活用し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めてまいります。みなさまの温かいご支援、ご協力をよろしくお願いたします。

詳しくは大阪市役所ホームページをご覧ください。<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000050469.html>



外資系企業で働く女性に聞く! それぞれのハッピーキャリア

外資系企業で働く子育て中の女性をスピーカーに招き、仕事やライフスタイルについて、実体験からお話しいただきました。働くイメージができたり、元気をもらったり、自分らしい働き方を考えるきっかけになるシンポジウムでした。

日時:平成26年6月20日(金) 10:00~12:00
場所:クレオ大阪中央にて 参加者:52人(就業したいと思っている女性や大学生 ほか)

コーディネーター:田中亜希さん(在日米商工会議所 ウィメン・イン・ビジネス委員会一関西 共同委員長、弁護士)
スピーカー:大矢和子さん(En World)、古賀寛子さん(バイエル薬品株式会社)、芝原佳奈美さん(ヒルトン大阪)、清水美帆さん(P & Gジャパン)

▶子育てと仕事の両立のしやすさ

外資系企業では、性別はもちろん、年齢、国籍、経験などがその人の評価に影響することがなく、上下関係にかかわらず自分の意見をはっきり言えるといった特徴があります。育児中だからといって、評価に特別な配慮はありませんが、女性だからという理由での不利益はなく、その人の意欲や能力、行動によって公平に評価されて仕事を任せてもらえ、仕事の幅が広がっていくという意味で、女性にとって働きやすいと言えます。

▶子どもへの影響、仕事への影響

共働きは、特に子どもが小さい時は、子どもにとってはいいことばかりではないと思います。夏休みも学童保育に通うため「僕にも夏休みがほしい」という言葉に胸が痛んだこともあります。しかし、子どもがもっと大きくなったときに、私の姿から何かしら感じとり、自分のやりたいことで人生を送ってほしいという一つのメッセージを示せばいいなと思っています。

仕事面での影響は、忍耐強くなったことと価値観が変わったことです。子育てするなかで、保育園や地域の方々など、たくさんの方に支えられているということを実感し、周囲に対して以前よりも感謝の気持ちを持つようになりました。

▶時には悩みも

自分の給料から保育費を引くと、わずかしか手元に残らない時期もありました。仕事も育児も大変だったこともあり、退職しようかと悩みました。そんなとき、母親が「退職でキャリアを中断すると、取り返すのが大変になる。金銭的にマイナスにならないのなら、仕事を続けていくための投資だと思って働きなさい。」と言ってくれました。職場の上司、同僚などの支えにも感謝しながら、その分仕事の成果で返していければと思っています。

▶モチベーションの維持

仕事は自己表現の場であり、いろいろな人と知り合えることで社会とのつながりを広げることができます。母親としてだけでなく、職場でも必要とされ、かつ、自分の労働に対して給料というかたちでの対価があります。両立は、時間のやりくりは大変でも、家に帰ったら家事や育児、職場では仕事という切り替えができるため、どちらかだけということではなく、精神的なバランスをとることができます。

▶メッセージ

大矢:女性が活躍していくためには、会社の就業制度も変わっていかねばなりません。しかし、一方では再就職する女性を積極的に採用する会社もあります。これから就業したいという女性の方はその気持ちを大事にチャレンジしていただければと思います。

古賀:外資系企業で働く場合、会社や配属される部署によって程度の差はありますが、日本の企業に比べて語学力を問われることが多いかも知れません。しかし語学力に加えて大切なことは、それを使って自分が何を表現し、何を伝えたいかだと思います。私の場合、子育てを通して得た体験がそれまでの価値観を変え、自分の考え方を深めることができたように思います。それがコミュニケーション力や自己表現にも役立っています。

清水:これから何か始められる方には、「気持ちがあれば、遅いことはない」ことをお伝えしたいです。心配なこともあるでしょうが、やってみたら意外と大丈夫なんてこともあります。1年後も今と同じ状況かという、そうでもありません。子どもも成長していきますし、チャレンジをすれば、周囲が変化するということもあります。

芝原:「こうあらねば」ということではなく、自分がどうありたいかという気持ちをしっかり考えておくことも大事です。「こう働きたい」「こういう家庭をつくりたい」という気持ちや価値観を大事に、目標設定をされたらいいと思います。そのうえで、どういう働き方をするか、今の自分に合わせて選択していけばいいのだと思います。

【参加者の感想】

- ・仕事と子ども両方持つことの素晴らしさを感じることができました。就職について少し悲観になっていましたが、自己実現に向けてがんばっていきたくて思いました。
- ・スピーカーの方々も悩みながら働き、今に至っているということが印象的で、様々な経験からとても魅力的なお話を聞くことができたのでよかったです。

主催:在日米商工会議所(ACCJ)関西支部、(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会
共催:大阪市、駐大阪・神戸アメリカ総領事館

文責:(一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会
※文章は複数のスピーカー内容をまとめたものです